

小金井市施設白書

平成24年3月

小金井市



公共施設等の課題を「見える化」「共有化」し、 行政経営資源の最適な活用を目指します。

このたび、市が保有する公共施設等を対象とした「小金井市施設白書」を作成いたしました。

公共施設等の課題を解決していくための基礎資料とするものです。

現在、市は、危機的な財源不足の状況に立ち至っております。歳入面では、東日本大震災と原子力発電所事故に伴う先行き不透明な経済状況をはじめとして、急激な円高、欧州の政府債務危機、世界規模の自然災害等の影響により、市税収入が大幅に落ち込む見込みです。歳出面では、不安定な社会情勢に伴って社会保障関連経費が急増し、最重要課題である「ごみ処理問題」の解決のために、多額の経費を要する見通しです。また、早期に解決すべき「新庁舎の建設」や「駅周辺の整備とまちづくり」等にも多くの財源が必要です。

このような状況の中で、第4次基本構想の目的である「市民のしあわせの増進」を進め、将来像「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」を実現するためには、限りある行政経営資源の最大限の活用と、「選択と集中」による最適な配分が不可欠です。さらに、3. 1 1 東日本大震災の経験を忘れず、「減災」の考え方に立って、「希望」から「共生」を育み、「地域コミュニティの再生」を進めることが重要です。

本市では、延床面積約 17.4 万㎡の公共施設等を保有しています。多種多様な施設がある中で、最大限の活用と最適な資源配分を目指していくためには、全体的な課題、用途別の実態、地域ごとの実態を整理して、課題の「見える化」を図り、「共有化」していくことが必要です。このため、本白書では、多くのグラフや図を使って、課題が一目で分かるように工夫しました。

安全・安心、減災、バリアフリー、福祉、環境、行政サービスの向上、地域コミュニティといった観点、そして、それらを実現するコストと財源の観点から、行政経営資源の最適な活用を図る「公共施設等のあり方」について、本白書を基礎資料として、市民の皆様と一緒に議論してまいりたいと考えております。

平成24年3月

小金井市長

箱葉孝考

『小金井市施設白書』のポイント

本市が保有する延床面積約 17.4 万㎡の公共施設等のうち、市民の皆様が利用するものを主な対象として、平成 22 年度決算をもとに、全体的課題、用途別及び地域別の実態の観点から、課題の「見える化」を図っています。

全体的課題については、今後の市の人口の変化等（第1章）と、施設の保全のためのコストの試算結果等（第2章）を把握しました。試算結果は 40 年間で 970.2 億円という膨大なものであり、総量の規制と行政サービスの維持向上の両立が課題となっています。

用途別の実態（第3章）については、市庁舎等、集会施設、保育園、小・中学校といった用途別に、建物状況、利用状況、運営状況、コスト状況等を把握しました。

地域ごとの実態（第4章）については、武蔵小金井地域、東小金井地域、野川地域について、概要及び特性、施設の配置状況、今後の課題を整理しました。お住まいの地域の状況が一目でご理解いただけるよう、地域実態マップで「見える化」を図っています。

最後に、保有資産の有効活用に向けた方向性について、整理しています（第5章）。

小金井市施設白書 目次

第1章 市の概況	
1. 市の概要	…… 3
2. 1日の流出入人口及び鉄道乗客数	
(1) 1日の流出入人口	…… 4
(2) 鉄道乗客数	…… 5
3. 市の人口	
(1) 市全体の人口動態	…… 6
(2) 地域別の人口動態	…… 9
4. 地域特性の把握	
(1) 3地域の区分	…… 11
(2) 各地域の特性	…… 11
(3) 今後の整備計画	…… 12
5. 隣接市との関係	…… 13
第2章 市が保有する財産の状況及び資産の有効活用の必要性	
1. 市の財政状況	
(1) 歳入（収入）の状況	…… 17
(2) 歳出（支出）の状況	…… 18
(3) 投資的経費の状況	…… 19
2. 市が保有する建物の内訳	…… 20
3. 市が保有する施設の築年別整備状況及び耐震化の状況	…… 21
4. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算	…… 22
5. 公共施設の有効活用の必要性	…… 24
第3章 用途別実態把握	
1. ストック情報とコスト情報の把握	…… 27
2. 対象施設一覧	…… 28
3. 対象施設の配置状況	…… 29
4. 実態把握の方法及び今後の課題のまとめ方	…… 32
5. 主な公共施設の実態把握	
● 市庁舎等	…… 35
● 集会施設	…… 39
● はけの森美術館	…… 54

● 福祉施設	……	61
● 保健センター	……	72
(子ども家庭支援センター、ファミリー・サポート・センターを含む。)		
● 保育所 (ピノキオ幼稚園を含む。)	……	87
● 児童館	……	101
● 学童保育所	……	112
● 小・中学校	……	121
● 文化財センター	……	134
● スポーツ施設	……	140
● 図書館	……	152
● 公民館	……	165
● 中間処理場 (北一会館を含む。)	……	184
● 福社会館	……	193

第4章 地域ごとの公共施設の状況

1. 地域ごとの実態把握及び課題	……	199
● 武蔵小金井地域	……	200
● 東小金井地域	……	202
● 野川地域	……	204

第5章 保有資産の有効活用

1. 課題のまとめ	……	209
2. インフラ資産等の課題及び今後にかかるコスト試算	……	210
3. 行政経営の視点の導入	……	212
4. 施設の有効活用に向けた検討内容	……	213
5. 今後の取組	……	214

■ 用語集	……	215
-------	----	-----

※1 本白書では、推移を除いて「平成22年度」データを基本に調査を行っています。

※2 本白書では、次のような端数処理をしています。

- ・ 文章中の合計数値は、「億円」「万円」で記載しているため、グラフ等の数値と一致しないことがあります。「約」を付けずに表記している場合があります。
- ・ 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。
- ・ 「% (パーセント)」表記は少数点第2位を四捨五入しているため、合計値が「100%」にならない場合があります。

※3 市職員等の人件費の算出にあたっては、原則として、「平均給与」から算出しています。